



日本顔学会入会申込書 兼 会員情報登録用紙

日本顔学会への入会を申し込みます。 _____ 年 月 日

■ 入会年度 2017年度 _____

■ 会員種別：個人会員 賛助会員 (いずれかにシ印)

ふりがな _____

■ 氏名： _____

※将来、学会員名簿を発行する場合には、氏名を名簿に掲載させて頂くことをご承知置き下さい。

■ 会員基本情報 _____

※原則としてすべてご記入ください。将来、学会名簿を発行するときに記載不可の場合は□にxをつけてください。

通信宛先住所 (所属機関 自宅他 ※いずれかに○)

※学会誌・ニューズレター・会費請求書等の送付先となりますので、正確にご記入下さい。所属機関の場合は、所属名、部課名までお願いします。会費請求書は郵送、学会誌・ニューズレターの送付はメール便でお届けしております。住所の記載が不十分な場合、会費請求書は届いても学会誌が届かない場合がございます。

〒 _____

TEL： _____ (所属機関、自宅他 ※いずれかに○)

FAX： _____ (所属機関、自宅他)

E-Mail： _____ @ _____ (所属機関、自宅他)

※このE-mailアドレスは学会からの個人様宛の事務連絡、ならびに催し物など学会からの各種案内の送付に使用させて頂きます。各種案内をご希望にならない場合は、下記の□にシ印をおつけください。

学会からのE-mailによる案内を希望しません。

■ 事務局記入欄
(No： _____) 入会登録日 (_____ 年 月 日)

ご職業 (所属先、肩書きなど)： _____

※ご所属がある場合は学校名または会社名、個人の場合は、例えば職業名をお書きください。
所属がない場合は「所属なし」とご記入ください。

専門分野 (お仕事、ご研究)

※現在のお仕事や研究されている分野について該当する番号に○をしてください。

- 1)工学系 2)歯学系 3)心理学系 4)美容・化粧・眼鏡 5)医学系 6)人類学系
- 7)芸術系 8)前記以外の人文社会科学 9)その他 (_____)

■ 以下は参考情報としてご記入下さい _____

※学会の今後の発展に向けて会員構成等を把握するために使用します。外部に公開することはありません。ぜひご協力ください。

◆ 生年月日・性別

西暦 _____ 年 月 日 女性 男性 (いずれかにシ印)

◆ ご興味・ご関心

※どのような顔の研究にご関心をお持ちなのか、あるいは、現在実際にされているご研究について、句読点も含み46字以内でお書きください。

--	--	--	--

◆ 所属学会 (代表的な学会を2つまでご記入ください)

◆ ご紹介者 (ご紹介者がおありの方はそのお名前をお書きください)

■ 申込書送付先 _____

日本顔学会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL 03-6267-4550 / FAX 03-6267-4555
E-mail: macas@mynavi.jp

フアックス 03-6267-4555

■ 会員の種別と会費

会員の種別は次のとおりです。

1. 個人会員・・・本会の目的に賛同する方で、理事会の承認を得た方。
2. 賛助会員・・・本会の目的および事業に賛同支援する団体および機関などで、理事会の承認を得たもの。

年会費・入会金は次のとおりです。

	年会費	入会金
個人会員	5,000 円	1,000 円
賛助会員	1口 10,000 円 5口以上	5,000 円

本学会の会計および事業年度は毎年1月～12月で、年会費は1年前納を原則とします。年度の途中で入会される場合も、その年度分の会費を納入してください。この場合、ニュースレターおよび学会誌等は、その年度の第1号からお送りいたします。

■ 入会方法

本学会に入会を希望される方は、入会申込書を（株）毎日学術フォーラムまでお送りください。又、学会の詳しい内容につきましては学会HPをご覧ください。

※ 再入会の方は、その手続きに関しまして下記学会事務局に直接お問い合わせ下さい。

○ 入会申込書送付先

日本顔学会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株) 毎日学術フォーラム内
TEL 03-6267-4550 / FAX 03-6267-4555
E-mail: macas@mynavi.jp

平成29年度 日本顔学会 役員構成

- ・会長： 興水 大和
- ・副会長：橋本 周司・菅沼 薫・島田 和幸
- ・総務：武川 直樹・青木 義満・今井 健雄・中島 功
- ・会員：原島 博
- ・会計：金子 正秀
- ・学会誌：辻 美千子・渋谷 進
- ・大会：阿部 恒之・中島 功
- ・企画：宮永 美知代・山口 真美・今井 健雄
- ・連携：赤松 茂・寺田 員人・森島 繁生
- ・ニュースレター：菅沼 薫（副会長兼任）・高野 ルリ子
- ・電子広報：興水 大和（会長兼任）・鈴木 健嗣
- ・監事：馬場 悠男・村上 伸一
- ・顧問：池田 進・奥田 祥子・清水 梯・村上 伸一・大坊 郁夫・小館 香椎子

入会案内

日本顔学会とは？

■ 従来の枠組みを超えたネットワークの創造

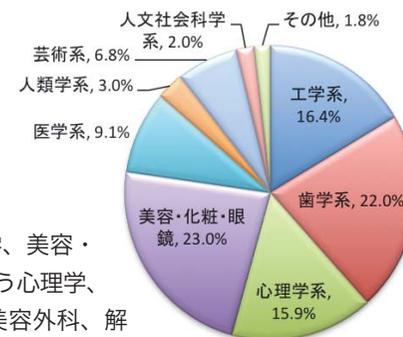
1995年3月、顔に関する研究の発展を期し、あわせて顔学の普及を図ることを目的に、顔の研究者、顔の研究に興味がある人々が結集して、日本顔学会が発足しました。発足後5年の間に、国立科学博物館を中心とした「大顔展」を企画するなど、世界的に見ても類のない、新しい私たちの学会の活動が新たな波紋を社会に投じています。

■ 顔に関心がある人なら、誰でも会員に！

2013年12月時点での会員数は664人。おおよその会員構成は右のグラフ(注: 分野は延べです。2つの分野を登録されている方はそれぞれの分野で数えています)のようになります。既存の学会では考えられなかった異なる分野の方々で構成されていることが分かります。

歯や歯並びを扱う歯学、コンピュータや機械を扱う工学、美容・化粧・眼鏡などを扱う分野、顔の魅力や表情の研究を扱う心理学、以上の4分野で約67%を占めます。さらに形成外科、美容外科、解剖学、神経学などの医学、美術解剖学ほかの芸術学、人類学となります。

いかにさまざまな研究分野・職業の方が集まっているかが分かります。従来の枠組みでは不可能だった出会いが「日本顔学会」を通して可能となっています。



■ 多彩な活動を支える会員が運動体に！ ~研究と情報交流の場作りが不可欠~

顔に関連した分野の研究発表の場として1991年に始まったワークショップは、1996年より「フォーラム顔学」と名称を変え、学術大会として夏から秋にかけて開催されています。併せて、2001年には「日本顔学会誌」も創刊されました。また、年数回開催している「イブニングセミナー」は、毎回多くの方の参加を頂いております。「ニュースレター」も年3回のペースで発行しています。今後も、学会活動の案内や報告をはじめとして、会員の方の声を取り入れながら、ビビッドな情報をお届けしていきます。

■ 2017年度の主な活動予定

- ・ 学術大会「フォーラム顔学2017」@関西学院大の開催
- ・ 「イブニングセミナー」の開催（年数回）
- ・ 「ニュースレター」の年3回の発行
- ・ 「日本顔学会誌」の発行